

第3期末 (2023年8月21日)

基準価額	9,303円
純資産総額	338百万円
騰落率	△3.3%
分配金	0円

## DCニッセイ

# おまかせバランスファンド (安定成長)

【愛称】 つみたて上手 (安定成長)

追加型投信／内外／資産複合

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2022年8月23日～2023年8月21日

第3期 (決算日 2023年8月21日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「DCニッセイおまかせバランスファンド (安定成長)」は、このたび第3期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリー収益強化型) II マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2022年8月23日～2023年8月21日

## 基準価額等の推移



第3期首	9,619円	既払分配金	0円
第3期末	9,303円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△3.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## 基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・2022年11月および2023年1月に米国における利上げ加速への警戒感が一巡する中、金利が低下（債券価格は上昇）するとともに株価も上昇したこと
- ・3月から4月にかけて、利上げ停止への期待感から金利の上昇が一巡するとともに株価も上昇したこと
- ・6月に米債務上限問題が解決したことや景気への期待感の高まりを背景に株価が上昇したこと

### <下落要因>

- ・2022年9月および2023年2月に、米国における利上げペースが加速することへの警戒感から金利が上昇するとともに株価も下落したこと
- ・2022年12月中旬に欧州中央銀行（ECB）が理事会で大幅利上げ継続の方針を示したことや日銀が金融政策決定会合において長期金利の変動レンジ上限を引き上げたことを受けて金利が上昇するとともに、株価が下落し主要通貨に対して円高が進行したこと
- ・2023年5月後半に米債務上限問題への警戒感から株価が横ばいにとどまる中、好調な景気指標から金利が上昇したこと
- ・7月から当期末にかけて、金融引き締め長期化への警戒感から金利が上昇するとともに中国景気への警戒感を背景に株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	56円	0.592%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,478円です。
(投信会社)	(27)	(0.285)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(27)	(0.285)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.016	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	( 2)	(0.016)	
その他費用	23	0.240	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.001)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.011)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(22)	(0.228)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	80	0.848	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

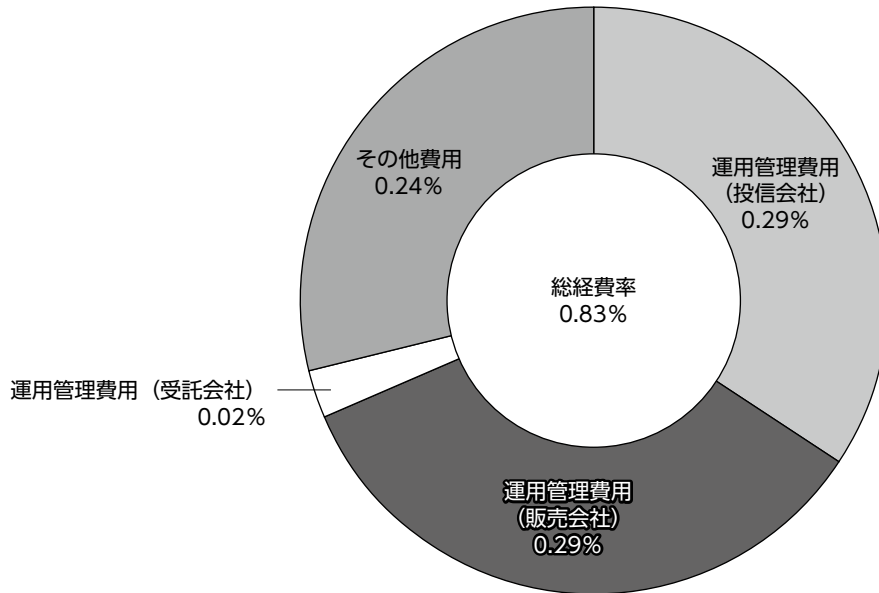
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.83%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 投資環境

### ■国内債券市況

当期の国内長期金利は上昇しました。0.22%程度でスタートした10年国債金利は2022年12月中旬までは日銀によるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作、YCC）の変動レンジの上限である0.25%に近い水準で推移しましたが、その後は変動レンジの上限引き上げを受けて0.5%程度まで上昇しました。2023年3月に日銀が金融政策決定会合において金融政策を据え置いたことで金利は一時0.2%台まで低下し、その後は反発しておおむね0.4%台で推移しましたが、7月下旬に日銀が指値オペ（指定する利回りで無制限に国債を買い入れるオペレーション）の水準を1.0%へ引き上げたことを受けて再び上昇し、前期末を上回る0.65%程度で当期末を迎えました。

### ■海外債券市況

当期の海外長期金利は米国・ドイツともに上昇しました。  
米国10年国債金利は期初以降、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げを背景に2022年10月にかけて4%台まで上昇した後、11月、2023年1月や3月にはFRBによる利上げペース減速への期待感からやや低下し、おおむね3%台後半で推移しました。8月には堅調な景気動向を背景に金利は一段と上昇し、前期末より高い水準で当期末を迎えました。  
ドイツ10年国債金利は期初以降、ECBの利上げを背景に2023年2月にかけて2%台後半まで上昇しました。3月にはやや低下する場面もあったものの、その後はECBによる利上げへの警戒感を背景に金利は上昇し、前期末より高い水準で当期末を迎えました。

### ■海外社債市況

当期の社債利回り（バークレイズ米国クレジット（1—3年）インデックス利回り）は上昇しました。インフレ高進が継続する中、FRBによる金融引き締めが長引くとの観測を受けて米国債利回りが上昇基調で推移したことから社債利回りは上昇しました。社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）については、2023年3月に米地方銀行の経営破綻や欧州における金融機関の経営危機を背景に拡大したものの、その後はFRBによる迅速な対応などを受けて縮小基調となり、前期末比では小幅な拡大にとどまりました。

### ■国内株式市況

当期の国内株式市場は上昇しました。期初から2023年3月にかけて海外株式市場の動きに連動するかたちでおおむね横ばいで推移しましたが、当期末にかけては国内景気・企業業績への期待感や円安の進行を背景に株価は大きく上昇し、前期末を上回る水準で当期末を迎えました。

### ■海外株式市況

当期の海外株式市場は北米・欧州は上昇、アジアは下落しました。期初から2022年9月にかけて金融引き締めの動きを背景に株価は下落しましたが、10月以降は利上げペース減速への期待感からおおむね上昇に転じました。2023年2月以降は景気・企業業績への期待感から北米が上昇する一方、欧州は横ばい、アジアは中国景気への警戒感等から下落し、期を通して見ると北米・欧州は前期末を上回る水準、アジアは下回る水準で当期末を迎えました。

### ■為替市況

当期の米ドル/円レートは米ドル高円安となりました。期初から2022年10月にかけて米国の利上げに伴う内外金利差の拡大で米ドル高円安へ推移した後、2023年1月にかけては利上げペース減速への期待感から米ドル安円高となりましたが、その後は日米金融政策の違いが意識され再び米ドル高円安の推移が続き、期を通して見ると米ドル高円安となりました。

当期のユーロ/円レートはユーロ高円安となりました。期初から2022年10月にかけて米ドル/円レートの動きや欧州金利の上昇を受けてユーロ高円安へ推移した後、2023年1月にかけてはややユーロ安円高となりましたが、その後はECBによる利上げ等を背景に再びユーロ高円安の推移が続き、期を通して見るとユーロ高円安となりました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

「ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリー収益強化型）Ⅱマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、運用に際しては、「ニッセイクレジットキャリーマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の社債等に投資を行いました。

また、基本的には基準価額の変動リスクを年率2.5%程度とすることをめどとしつつ、中長期的にリスク水準のめどと同程度のリターン（運用管理費用控除前）の獲得をめざして運用を行いました。

### <資産別収益率の推移>

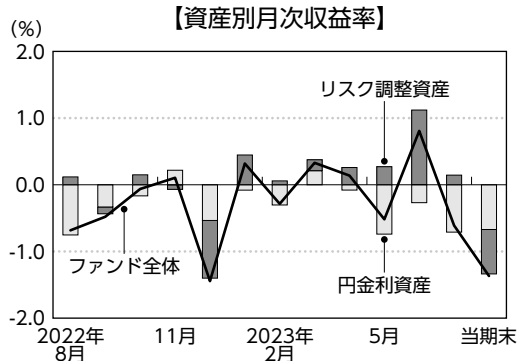
金融引き締め懸念から金利が上昇する中、円金利資産はマイナス寄与が続く一方、株式等のリスク調整資産については利上げ減速期待や景気期待で上昇する場面があったものの、金融引き締め懸念を受けて下落する場面もあり、全体ではまちまちの推移となりました。

2022年12月および2023年8月は、金融引き締め懸念から円金利資産・リスク調整資産ともにマイナス寄与しやや大きめのマイナス収益となった一方、2023年1月、3-4月や6月は利上げペース減速や景気への期待感からリスク調整資産がプラス寄与し全体でもプラスとなりました。2022年9月、2023年5月、7月は金利の上昇で円金利資産が主にマイナス寄与し、リスク調整資産はややプラス寄与する場面もあったものの、全体ではマイナスの収益となりました。

### <資産別組入比率の推移>

資産配分については、円金利資産とリスク調整資産の双方の価格変動リスクを同程度に保つことで、ポートフォリオ全体の価格変動リスクを抑えつつ、円金利資産の内部においては債券先物の買い建てと売り建てを併用して利回り分等の収益の強化を図る運用を継続しました。

2022年8-10月、12月や2023年2月に市場が不安定化した場面では、円金利資産とリスク調整資産のリスク量の均衡を保ちつつ、リスク調整資産の比率を引き下げるとともに円金利資産の金利リスクを引き下げることで、価格下落リスクの抑制を図りました。



### 【資産別組入比率】 (%)

	2022年8月末	11月末	2023年2月末	5月末	当期末
円金利資産	96.8	86.8	93.7	85.6	88.3
日本国債・短期資金等	84.5	62.2	79.0	61.2	66.8
外国国債 (為替ヘッジあり)	4.4	16.7	6.6	16.3	13.4
国内社債・外国社債 (為替ヘッジあり)	8.0	8.0	8.1	8.1	8.2
リスク調整資産	3.2	13.2	6.3	14.4	11.7
国内株式	0.6	3.0	1.8	3.9	1.4
外国株式	1.2	5.9	4.5	7.6	4.1
外国為替	1.4	4.2	0.0	2.9	6.2

## ■マザーファンド

### <ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリー収益強化型）Ⅱマザーファンド>

国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### <ニッセイクレジットキャリーマザーファンド>

国内外の先進国の短中期の公社債に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざしました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2022年8月23日～2023年8月21日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	61円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■当ファンド

「ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリー収益強化型）Ⅱマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

なお、運用に際しては、「ニッセイクレジットキャリーマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の社債等に投資を行うことがあります。

また、基本的には基準価額の変動リスクを年率2.5%程度とすることをめどとしつつ、中長期的にリスク水準のめどと同程度のリターン（運用管理費用控除前）の獲得をめざして運用を行います。

## ■マザーファンド

### <ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリー収益強化型）Ⅱマザーファンド>

国内外の債券および株式に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を活用し株式への実質的な投資を行います。また、安定的な収益確保および運用の効率化を図るため、債券先物取引および金利スワップ取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。

### <ニッセイクレジットキャリーマザーファンド>

引き続き、個別銘柄分析に基づき、償還まで保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れ、取引コストを抑制しながら安定したキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）の確保をめざします。通貨配分については、為替ヘッジコスト控除後においても利回りが高い通貨を中心に組み入れることで、為替リスクを低減しながら国内外の金利差・社債スプレッド格差を享受することをめざします。ただし、為替ヘッジコストについては動向に注視し、市場動向によって機動的に対応します。

また、同一発行体の債券の中でも割安に放置されている通貨・銘柄を発掘し、リターンの底上げを図ります。



# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第3期末 2023年8月21日
ニッセイ・リスク抑制型バランス （キャリア収益強化型）Ⅱ マザーファンド	84.6%
ニッセイクレジットキャリアマザーファンド	8.2

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

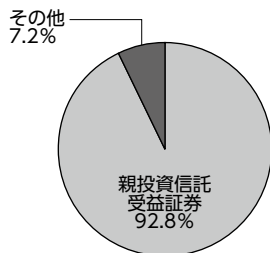
（注2）組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

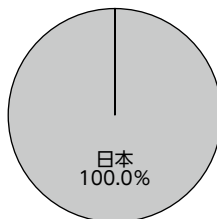
項目	第3期末 2023年8月21日
純資産総額	338,877,806円
受益権総口数	364,285,946口
1万口当たり基準価額	9,303円

（注）当期間中における追加設定元本額は78,979,069円、同解約元本額は23,155,148円です。

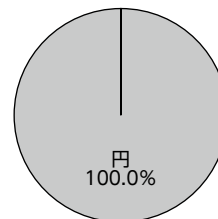
### 資産別配分



### 国別配分



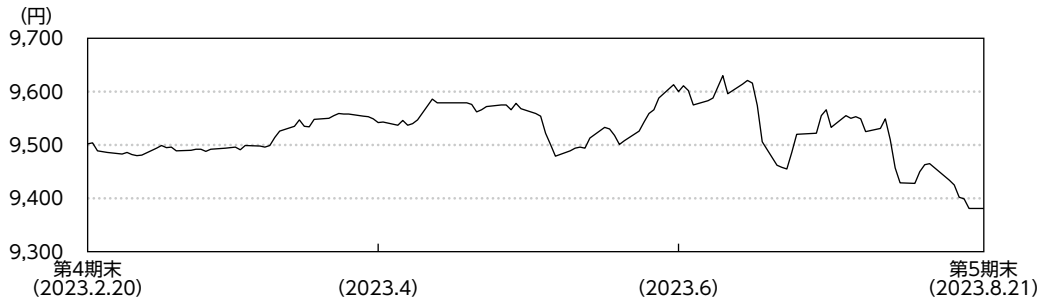
### 通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2023年8月21日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリー収益強化型）Ⅱ マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

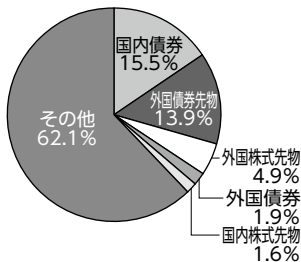
銘柄名	通貨	比率
第448回 利付国債(2年)	円	10.9%
AUSTRALIA 10 YEAR BOND FUTURE 202309 買	オーストラリア・ドル	4.3
US 10YR T-NOTE FUTURE 202309 買	米ドル	3.5
EURO-BUND FUTURE(FGBL) 202309 買	ユーロ	3.0
EURO-OAT FUTURE 202309 買	ユーロ	2.9
S&P 500 EMINI FUTURE 202309 買	米ドル	2.3
TOPIX 先物 0509月 買	円	1.6
CANADIAN GOVERNMENT 1.25% 2030/6/1	カナダ・ドル	1.6
DJ EURO STOXX 50 202309 買	ユーロ	1.5
第183回 利付国債(20年)	円	1.4
組入銘柄数		18

■ 1万口当たりの費用明細

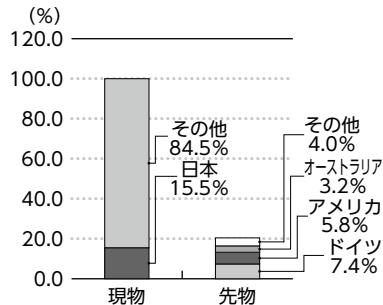
2023.2.21～2023.8.21

項目	金額
売買委託手数料	1円
(先物・オプション)	( 1)
その他費用	10
(保管費用)	( 0)
(その他)	(10)
合計	11

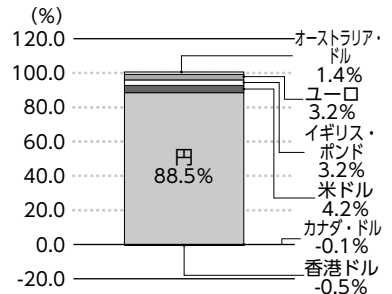
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2023年8月21日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

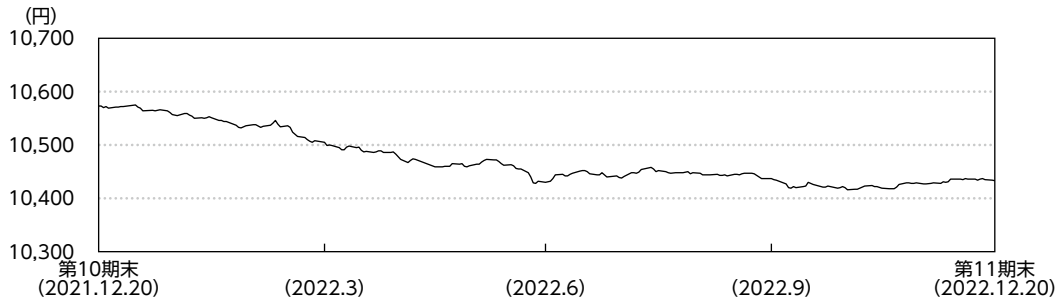
(注3) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。

(注4) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注5) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

## ニッセイクレジットキャリマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

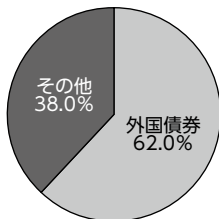
銘柄名	通貨	比率
BHP BILLITON FINANCE LTD 3.23% 2023/5/15	カナダ・ドル	3.0%
MACQUARIE GROUP LTD 6.207% 2024/11/22	米ドル	2.8
MITSUBISHI UFJ FIN GRP 3.761% 2023/7/26	米ドル	2.7
NATIONAL AUSTRALIA BANK 4.65% 2025/11/25	オーストラリア・ドル	2.7
SVENSKA HANDELSBANKEN AB 3.25% 2023/9/27	オーストラリア・ドル	2.7
VERIZON COMMUNICATIONS 3.5% 2023/2/17	オーストラリア・ドル	2.5
KOMATSU FINANCE AMERICA 0.849% 2023/9/9	米ドル	2.5
AOZORA BANK 1.05% 2024/9/9	米ドル	2.4
CANADIAN IMPERIAL BANK 3.29% 2024/1/15	カナダ・ドル	2.3
HONDA CANADA FINANCE INC 2.537% 2023/3/1	カナダ・ドル	2.3
組入銘柄数		53

### ■ 1万口当たりの費用明細

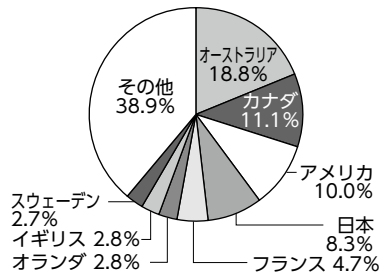
2021.12.21~2022.12.20

項目	金額
その他費用 (保管費用)	1円
(その他)	(1)
(その他)	(0)
合計	1

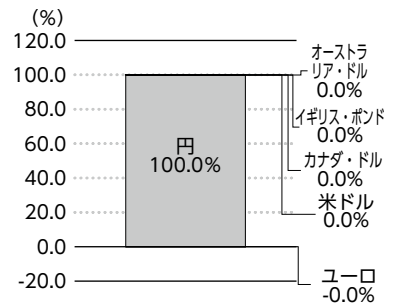
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2022年12月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## DCニッセイおまかせバランスファンド（安定成長）

### 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
				基準価額＋ 累計分配金				
(設定日) 2021年1月12日	円 10,000	円 －	% －	円 10,000	% －	% －	% －	百万円 1
1期(2021年8月20日)	9,963	0	△0.4	9,963	11.3	19.9	26.1	5
2期(2022年8月22日)	9,619	0	△3.5	9,619	6.4	20.4	12.0	296
3期(2023年8月21日)	9,303	0	△3.3	9,303	5.5	21.5	11.8	338

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率
(期首)2022年8月22日	円 9,619	% －	% 6.4	% 20.4	% 12.0
8月末	9,596	△0.2	1.8	17.8	3.3
9月末	9,550	△0.7	1.7	17.2	2.2
10月末	9,544	△0.8	3.4	17.3	7.2
11月末	9,554	△0.7	8.9	19.7	15.7
12月末	9,416	△2.1	4.0	18.1	3.1
2023年1月末	9,446	△1.8	22.6	18.2	27.8
2月末	9,419	△2.1	6.3	16.4	5.6
3月末	9,450	△1.8	14.4	17.2	13.8
4月末	9,463	△1.6	14.4	17.4	18.6
5月末	9,414	△2.1	11.6	20.0	14.7
6月末	9,490	△1.3	22.0	21.1	33.6
7月末	9,432	△1.9	18.8	20.8	23.8
(期末)2023年8月21日	9,303	△3.3	5.5	21.5	11.8

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

# DCニッセイおまかせバランスファンド (安定成長)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

2022年8月23日～2023年8月21日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリア収益強化型) IIマザーファンド	66,593	63,736	21,259	20,281
ニッセイクレジットキャリアマザーファンド	5,749	5,998	1,832	1,908

(注) 単位未満は切り捨てています。

## 利害関係人との取引状況等

2022年8月23日～2023年8月21日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 親投資信託残高

2023年8月21日現在

種類	期首 (前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリア収益強化型) IIマザーファンド	260,430	305,764	286,837
ニッセイクレジットキャリアマザーファンド	22,700	26,617	27,687

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるマザーファンド全体の口数は、ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリア収益強化型) IIマザーファンドが2,916,053千口、ニッセイクレジットキャリアマザーファンドが74,066,225千口です。

## 投資信託財産の構成

2023年8月21日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリア収益強化型) IIマザーファンド	286,837	84.4
ニッセイクレジットキャリアマザーファンド	27,687	8.1
コール・ローン等、その他	25,471	7.5
投資信託財産総額	339,996	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月21日における邦貨換算レートは、1米ドル145.33円、1カナダ・ドル107.33円、1オーストラリア・ドル93.20円、1香港ドル18.56円、1イギリス・ポンド185.28円、1ユーロ158.12円です。

(注2) ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリア収益強化型) IIマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (1,560,569千円) の投資信託財産総額 (2,784,782千円) に対する比率は56.0%です。

ニッセイクレジットキャリアマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (64,434,408千円) の投資信託財産総額 (79,874,793千円) に対する比率は80.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## DCニッセイおまかせバランスファンド（安定成長）

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年8月21日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>339,996,680円</b>
コール・ローン等	25,347,948
ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリー収益強化型)Ⅱ マザーファンド(評価額)	286,837,592
ニッセイクレジットキャリー マザーファンド(評価額)	27,687,854
未収入金	123,286
<b>(B) 負債</b>	<b>1,118,874</b>
未払解約金	110,024
未払信託報酬	990,549
その他未払費用	18,301
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>338,877,806</b>
元本	364,285,946
次期繰越損益金	△ 25,408,140
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>364,285,946口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>9,303円</b>

(注1) 期首元本額 308,462,025円  
 期中追加設定元本額 78,979,069円  
 期中一部解約元本額 23,155,148円

(注2) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は  
 25,408,140円です。

### 損益の状況

当期 (2022年8月23日~2023年8月21日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 12,861円</b>
受取利息	1,040
支払利息	△ 13,901
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 8,624,139</b>
売買取損益	250,479
売買損益	△ 8,874,618
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,950,576</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 10,587,576</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 638,817</b>
(分配準備積立金)	( 24,399)
(繰越欠損金)	(△ 663,216)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>△ 14,181,747</b>
(配当等相当額)	( 2,210,211)
(売買損益相当額)	(△ 16,391,958)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>△ 25,408,140</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>△ 25,408,140</b>
追加信託差損益金	△ 14,181,747
(配当等相当額)	( 2,210,211)
(売買損益相当額)	(△ 16,391,958)
分配準備積立金	24,399
繰越欠損金	△ 11,250,792

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

### 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	2,210,211円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	24,399円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	2,234,610円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	61.34円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■ 関連会社の実質保有比率

2023年7月末現在、当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に以下の通り保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

主要投資対象マザーファンド	他のベビーファンドを通じた 実質保有比率 (%)
ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリア収益強化型）Ⅱマザーファンド	89.6
ニッセイクレジットキャリアマザーファンド	41.2

# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリア収益強化型）Ⅱマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお、運用に際しては、ニッセイクレジットキャリアマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の社債等に投資を行うことがあります。	
主要運用対象	DCニッセイおまかせ バランスファンド（安定成長）	「ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリア収益強化型）Ⅱマザーファンド」および「ニッセイクレジットキャリアマザーファンド」受益証券
	ニッセイ・リスク抑制型 バランス（キャリア収益強化型） Ⅱマザーファンド	国内外の債券、株式および有価証券先物等
	ニッセイクレジットキャリア マザーファンド	日本および世界の先進国の公社債
運用方法	DCニッセイおまかせ バランスファンド（安定成長）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ・リスク抑制型 バランス（キャリア収益強化型） Ⅱマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイクレジットキャリア マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。	



# ニッセイ・リスク抑制型バランス (キャリー収益強化型) II マザーファンド

## 運用報告書

### 第 5 期

(計算期間：2023年2月21日～2023年8月21日)

運用方針	<p>①主に国内外の債券および株式に投資を行い、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。</p> <p>②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を活用し株式への実質的な投資を行います。また、安定的な収益確保および運用の効率化を図るため、債券先物取引および金利スワップ取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。</p> <p>③組入外貨建資産については、為替ヘッジを活用し為替変動リスクの抑制を図ります。なお、組入外貨建資産の外貨のエクスポージャーは、市場環境およびリスク水準等に応じて変更を行います。</p>	主要運用対象	国内外の債券、株式および有価証券先物等
	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合には、制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>	



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2023年2月21日～2023年8月21日

## 投資環境

### ■ 国内債券市況

当期の国内長期金利は上昇しました。0.51%程度でスタートした10年国債金利は3月に日銀が金融政策決定会合において金融政策を据え置いたことで一時0.2%台まで低下し、その後は反発しておおむね0.4%台で推移しましたが、7月下旬に日銀が指値オペ（指定する利回りで無制限に国債を買い入れるオペレーション）の水準を1.0%へ引き上げたことを受けて再び上昇し、前期末を上回る0.65%程度で当期末を迎えました。

### ■ 海外債券市況

当期の海外長期金利は米国・ドイツともに上昇しました。

米国10年国債金利は、3月にかけて米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの減速期待から低下しましたが、その後は堅調な景気動向を背景に上昇し、前期末より高い水準で当期末を迎えました。

ドイツ10年国債金利は、3月にはやや低下する場面もあったものの、その後は欧州中央銀行（ECB）による利上げへの警戒感を背景に上昇し、前期末より高い水準で当期末を迎えました。

### ■ 国内株式市況

当期の国内株式市場は上昇しました。期初から3月にかけて海外株式市場の動きに連動するかたちでおおむね横ばいで推移しましたが、当期末にかけては国内景気・企業業績への期待感や円安の進行を背景に株価は大きく上昇し、前期末を上回る水準で当期末を迎えました。

### ■ 海外株式市況

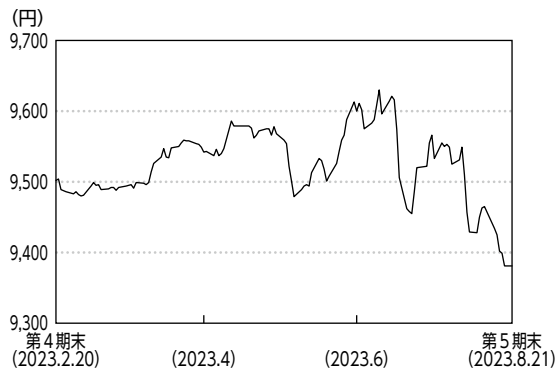
当期の海外株式市場は北米は上昇、欧州・アジアは下落しました。期初から5月にかけては各地域ともおおむね横ばいで推移しましたが、6月以降は景気・企業業績への期待感から北米が上昇する一方、欧州・アジアは横ばいで推移し、8月は全ての市場でやや下落しました。

### ■ 為替市況

当期の米ドル/円レートは米ドル高円安となりました。期初以降、米国の利上げに伴う内外金利差の拡大等を背景に米ドル高円安が進行し、期を通して見ると米ドル高円安となりました。

当期のユーロ/円レートはユーロ高円安となりました。期初以降、ECBによる利上げ等を背景にユーロ高円安が進行し、期を通して見るとユーロ高円安となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 3月から4月にかけて、利上げ停止への期待感から金利の上昇（債券価格は下落）が一巡するとともに株価も上昇したこと
- ・ 6月に米債務上限問題が解決したことや景気への期待感の高まりを背景に株価が上昇したこと

#### <下落要因>

- ・ 5月後半に米債務上限問題への警戒感から株価が横ばいにとどまる中、好調な景気指標から金利が上昇したこと
- ・ 7月から当期末にかけて、金融引き締め長期化への警戒感から金利が上昇するとともに中国景気への警戒感等を背景に株価が下落したこと

## ポートフォリオ

国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、国内外の債券および株式に投資を行うとともに、有価証券先物取引等を活用することにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

国内外の債券および株式に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を活用し株式への実質的な投資を行います。また、安定的な収益確保および運用の効率化を図るため、債券先物取引および金利スワップ取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
(設定日) 2021年1月7日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 2,850
1期(2021年8月20日)	10,005	0.1	13.1	16.3	30.4	2,616
2期(2022年2月21日)	9,733	△2.7	3.0	19.9	△ 0.2	2,550
3期(2022年8月22日)	9,685	△0.5	7.6	17.5	14.1	2,780
4期(2023年2月20日)	9,502	△1.9	9.3	13.3	10.5	2,754
5期(2023年8月21日)	9,381	△1.3	6.5	17.4	13.9	2,735

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

(注3) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率
(期首)2023年2月20日	円 9,502	% -	% 9.3	% 13.3	% 10.5
2月末	9,486	△0.2	7.4	13.4	6.6
3月末	9,526	0.3	17.0	14.4	16.2
4月末	9,547	0.5	17.0	14.4	21.9
5月末	9,496	△0.1	13.6	17.6	17.3
6月末	9,596	1.0	25.9	17.5	39.6
7月末	9,531	0.3	22.2	17.3	28.1
(期末)2023年8月21日	9,381	△1.3	6.5	17.4	13.9

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2023年2月21日～2023年8月21日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション)	1円 ( 1)	0.011% (0.011)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用)	10 ( 0)	0.110 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(10)	(0.109)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	11	0.121	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（9,525円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年2月21日～2023年8月21日

(1) 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 392,100	千円 297,308
外国	カナダ 国債証券	千カナダ・ドル 207	千カナダ・ドル -

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国内 株式先物取引	百万円 556	百万円 609	百万円 -	百万円 -
外国 株式先物取引	1,963	2,018	-	-
外国 債券先物取引	3,587	3,464	59	59

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 外貨建取引の金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年2月21日～2023年8月21日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第448回 利付国債（2年）	297,386	第425回 利付国債（2年）	297,308
第78回 利付国債（30年）	36,762	—	—
第184回 利付国債（20年）	30,157		
CANADIAN GOVERNMENT	21,320		
第183回 利付国債（20年）	16,462		
第77回 利付国債（30年）	11,331		

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年8月21日現在

(1) 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	426,800 (426,800)	424,687 (424,687)	15.5 (15.5)	—	4.7 (4.7)	—	10.9 (10.9)
合計	426,800 (426,800)	424,687 (424,687)	15.5 (15.5)	—	4.7 (4.7)	—	10.9 (10.9)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリー収益強化型）Ⅱ マザーファンド

### (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第448回 利付国債（2年）	0.0050	2025/5/1	297,000	297,023
	第77回 利付国債（30年）	1.6000	2052/12/20	26,500	26,606
	第78回 利付国債（30年）	1.4000	2053/3/20	35,100	33,589
	第183回 利付国債（20年）	1.4000	2042/12/20	38,700	39,176
	第184回 利付国債（20年）	1.1000	2043/3/20	29,500	28,292
	合計	-	-	-	424,687

### (2) 外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
カナダ	千カナダ・ドル 490	千カナダ・ドル 415	千円 44,584	% 1.6	% -	% 1.6	% -	% -
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 92	千オーストラリア・ドル 86	8,019	0.3	-	0.3	-	-
合計	-	-	52,603	1.9	-	1.9	-	-

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。



## ニッセイ・リスク抑制型バランス（キャリア収益強化型）Ⅱ マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千カナダ・ドル	千円
カナダ	%		千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円
国債証券 CANADIAN GOVERNMENT	1.2500	2030/06/01	490	415	44,584
小計	-	-	-	-	44,584
オーストラリア			千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	
国債証券 AUSTRALIAN GOVERNMENT	3.7500	2037/04/21	92	86	8,019
小計	-	-	-	-	8,019
合計	-	-	-	-	52,603

(3) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
国内	百万円	百万円
TOP I X	44	-
外国		
S&P 500 EMINI FUTURE	63	-
HANG SENG INDEX FUTURES	16	-
FTSE 100	13	-
DJ EURO STOXX 50	40	-
10 YEAR US TREASURY NOTE FUTURES	95	-
ASX 10YEAR TREASURY BOND FUTURES	117	-
ASX 3 YEAR TREASURY BOND FUTURES	-	29
LONG GILT FUTURES	34	-
EURO-BUND FUTURES(FGBL)	83	-
EURO-OAT FUTURES	79	-

(注1) 外貨建ての評価額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

投資信託財産の構成

2023年8月21日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 477,291	% 17.1
コール・ローン等、その他	2,307,491	82.9
投資信託財産総額	2,784,782	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月21日における邦貨換算レートは、1米ドル145.33円、1カナダ・ドル107.33円、1オーストラリア・ドル93.20円、1香港ドル18.56円、1イギリス・ポンド185.28円、1ユーロ158.12円です。

(注2) 外貨建純資産（1,560,569千円）の投資信託財産総額（2,784,782千円）に対する比率は56.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年8月21日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>4,554,513,765円</b>
コール・ローン等	769,408,517
公社債(評価額)	477,291,190
未収入金	1,781,231,036
未収利息	637,719
前払費用	128,308
差入委託証拠金	1,525,816,995
<b>(B) 負債</b>	<b>1,819,006,114</b>
未払金	1,818,892,319
未払解約金	112,683
その他未払費用	1,112
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,735,507,651</b>
元本	2,916,053,472
次期繰越損益金	△ 180,545,821
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,916,053,472口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>9,381円</b>

(注1) 期首元本額 2,899,074,746円

期中追加設定元本額 32,348,732円

期中一部解約元本額 15,370,006円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるペビーフンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド（キャリアー収益強化型）Ⅱ（適格機関投資家限定）  
2,610,289,063円

DCニッセイおまかせバランスファンド（安定成長）  
305,764,409円

(注3) 元本の欠損

純資産総額は元本額を下回っており、その差額は180,545,821円です。

損益の状況

当期（2023年2月21日～2023年8月21日）

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>21,896,104円</b>
受取利息	1,095,514
その他収益金	21,045,336
支払利息	△ 244,746
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>4,909,419</b>
売買益	216,247,912
売買損	△211,338,493
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>△ 59,001,673</b>
取引益	49,839,334
取引損	△108,841,007
<b>(D) 信託報酬等</b>	<b>△ 3,154,376</b>
<b>(E) 当期損益金(A+B+C+D)</b>	<b>△ 35,350,526</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>△144,436,125</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,475,740</b>
<b>(H) 解約差損益金</b>	<b>716,570</b>
<b>(I) 合計(E+F+G+H)</b>	<b>△180,545,821</b>
<b>次期繰越損益金(I)</b>	<b>△180,545,821</b>

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

# ニッセイクレジットキャリー マザーファンド

## 運用報告書

第 11 期

(計算期間：2021年12月21日～2022年12月20日)

運用方針	<p>①日本および世界の先進国の短中期の公社債に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。</p> <p>②債券への投資割合は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ることをめざします。</p>	運用方法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>
主要運用対象	日本および世界の先進国の公社債		



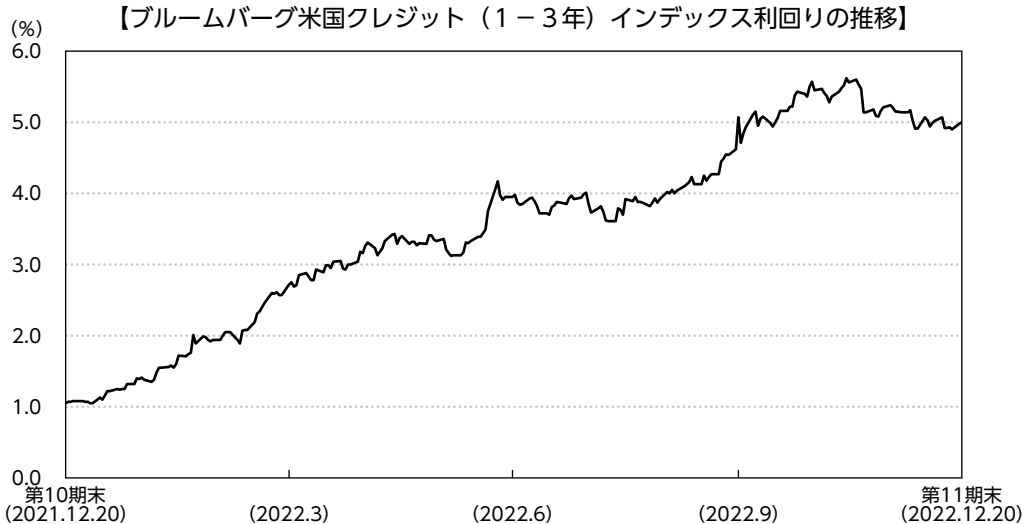
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2021年12月21日～2022年12月20日

## 海外社債市況



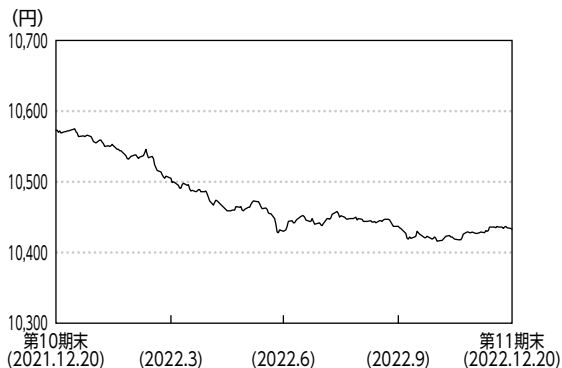
(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

当期の社債利回り（ブルームバーグ米国クレジット（1－3年）インデックス利回り）は、米国におけるインフレ高進を受けた米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが継続する中で米回国債利回りが短中期の年限を中心に上昇したことに加え、利上げによる米景気鈍化や企業業績悪化懸念を背景に社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大したこともあり、上昇しました。

期初から10月までは、米国におけるインフレ高進を受けてFRBが急速な利上げを実施する一方、コロナ禍における政府からの給付金により積み上げられた家計貯蓄を切り崩すかたちで進んでいた景気回復が利上げの影響もあり、次第に鈍化していくとの懸念から米回国債利回りは上昇しました。社債スプレッドについても、企業業績悪化懸念や新発債発行増による需給悪化懸念などを受けて拡大したことから、社債利回りは上昇基調となりました。

10月から当期末にかけては、FRB高官から年末に向けて利上げペースの減速を示唆する発言が出始めたことに加え、米景気の鈍化が鮮明となってきたことから、国債利回りは低下に転じました。社債スプレッドについても、大幅な利上げ局面の終わりが意識され市場のリスクセンチメント（市場心理）が改善したことなどから縮小し、社債利回りは低下しました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ F R B による大幅利上げ打ち止めへの期待感や米景気鈍化懸念などを受けた米国国債金利の低下（債券価格は上昇）
- ・ F R B による大幅利上げ打ち止めへの期待感を背景とした社債スプレッドの縮小

#### <下落要因>

- ・ インフレ退治を最優先事項とする F R B による大幅利上げを受けた金利上昇
- ・ F R B による大幅利上げを受けた企業業績悪化懸念や市場のリスクセンチメント悪化を受けた社債スプレッドの拡大

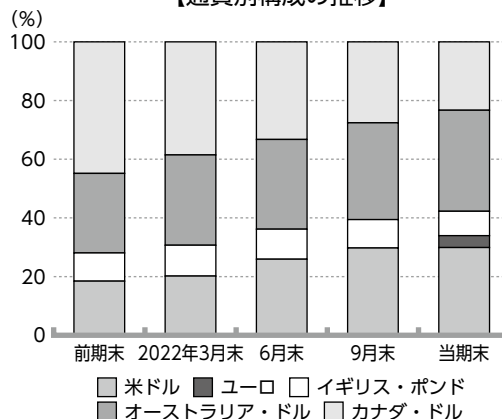
## ポートフォリオ

国内外の先進国の短中期の公社債に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざしました。

### <通貨別構成>

米ドル、ユーロ、オーストラリア・ドル、カナダ・ドル、イギリス・ポンド建ての保有を維持しました。主要中央銀行による急速な利上げが進む中、短期ゾーンの為替ヘッジコスト控除後の利回りが大きく上昇していることから、同利回りが相対的に高いユーロ建て債券への投資を行った一方、財政悪化やインフレ高進による景気悪化リスクの高いイギリス・ポンド建て債券については投資割合を小幅に縮小しました。

### 【通貨別構成の推移】



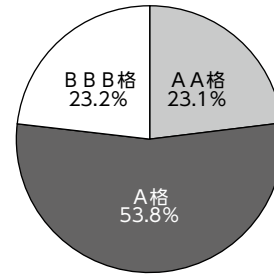
(注1) 比率は対組入債券評価額比です。以下同じです。

(注2) 為替ヘッジ考慮前の数値です。

## <格付別投資状況>

償還まで保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れています。当期末の格付分布は図の通りです。

## 【格付別組入状況】



(注) 格付は、ムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

## 参考指標との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指標は無担保コールO/N物レート（TONA）です。

当期の基準価額騰落率は-1.3%となり、参考指標騰落率（-0.0%）を下回りました。

個別銘柄分析に基づき抑制的なスタンスで運用を行う中で、為替ヘッジコスト控除後において利回りが高いオーストラリア・ドル建て債券を中心に組み入れたことなどがプラス寄与しましたが、期を通じたベース金利と社債スプレッドの上昇による保有銘柄の価格下落がマイナス寄与しました。

\*参考指標については、2022年1月1日付で円Libor（3カ月）から無担保コールO/N物レート（TONA）に変更しています。以下同じです。

## 今後の運用方針

引き続き、個別銘柄分析に基づき、償還まで保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れ、取引コストを抑制しながら安定したキャリア収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）の確保をめざします。通貨配分については、為替ヘッジコスト控除後においても利回りが高い通貨を中心に組み入れることで、為替リスクを低減しながら国内外の金利差・社債スプレッド格差を享受することをめざしますが、米金融政策スタンス等を受けた為替ヘッジコストの動向を注視し、市場動向によって機動的に対応します。

また、同一発行体の債券の中でも割安に放置されている通貨・銘柄を発掘し、リターンの底上げを図ります。

## ニッセイクレジットキャリアマザーファンド

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指標	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率		
	円	%		%	%	百万円
7期(2018年12月20日)	10,339	△0.4	10,051	△0.0	78.0	67,759
8期(2019年12月20日)	10,438	1.0	10,043	△0.1	84.3	67,726
9期(2020年12月21日)	10,597	1.5	10,036	△0.1	83.8	88,597
10期(2021年12月20日)	10,573	△0.2	10,028	△0.1	79.5	88,625
11期(2022年12月20日)	10,433	△1.3	10,025	△0.0	62.0	82,654

(注) 参考指標は設定時を10,000として指数化しています。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指標	騰落率	債券 組入比率
	円	%		%	%
(期首) 2021年12月20日	10,573	-	10,028	-	79.5
12月末	10,572	△0.0	10,027	△0.0	81.4
2022年 1 月末	10,551	△0.2	10,027	△0.0	81.5
2 月末	10,537	△0.3	10,027	△0.0	76.3
3 月末	10,496	△0.7	10,027	△0.0	80.3
4 月末	10,473	△0.9	10,027	△0.0	78.5
5 月末	10,472	△1.0	10,027	△0.0	77.0
6 月末	10,445	△1.2	10,027	△0.0	69.9
7 月末	10,454	△1.1	10,026	△0.0	68.3
8 月末	10,443	△1.2	10,026	△0.0	68.2
9 月末	10,420	△1.4	10,026	△0.0	61.7
10月末	10,424	△1.4	10,026	△0.0	60.8
11月末	10,430	△1.4	10,025	△0.0	60.1
(期末) 2022年12月20日	10,433	△1.3	10,025	△0.0	62.0

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2021年12月21日～2022年12月20日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	1円	0.009%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	1	0.009	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,472円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。



ニッセイクレジットキャリアマザーファンド

売買および取引の状況

2021年12月21日～2022年12月20日

公社債

			買付額	売付額	
外国	アメリカ	社債券	千米ドル 17,146	千米ドル — ( 13,200)	
	カナダ	社債券	千カナダ・ドル 4,863	千カナダ・ドル — (235,395)	
	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル — ( 2,000)	
		社債券	60,167	— ( 91,770)	
	イギリス	特殊債券	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド — ( 5,000)	
		社債券	—	— ( 12,800)	
	ユーロ	オランダ	社債券	千ユーロ 4,957	千ユーロ —
		ドイツ	社債券	4,923	—
		その他	社債券	4,745	—

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。また、その他には国際機関等を含みます。以下同じです。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2021年12月21日～2022年12月20日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
MACQUARIE GROUP LTD	2,306,826	—	—
NATIONAL AUSTRALIA BANK	2,291,072		
WESTPAC BANKING CORP	1,071,383		
AUST & NZ BANKING GROUP	916,400		
COMMONWEALTH BANK AUST	898,784		
VOLKSWAGEN INTL FIN NV	711,797		
RWE AG	702,309		
MIZUHO FINANCIAL GROUP	681,394		
MORGAN STANLEY	496,850		
VOLKSWAGEN FIN SERV AUST	292,901		

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイクレジットキャリアマザーファンド

組入有価証券明細表

2022年12月20日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末								
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%	
アメリカ	115,700	113,754	15,304,535	18.5	—	—	—	18.5	
カナダ	千カナダ・ドル 122,500	千カナダ・ドル 121,111	11,936,739	14.4	—	—	—	14.4	
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 196,381	千オーストラリア・ドル 195,763	17,640,233	21.3	—	—	6.2	15.1	
イギリス	千イギリス・ポンド 26,300	千イギリス・ポンド 26,028	4,253,854	5.1	—	—	—	5.1	
ユーロ圏	千ユーロ	千ユーロ							
	オランダ	5,000	4,922	702,074	0.8	—	—	0.8	—
	ドイツ	5,000	4,888	697,238	0.8	—	—	0.8	—
その他	5,000	4,740	676,213	0.8	—	—	—	0.8	
合計	—	—	51,210,888	62.0	—	—	7.9	54.1	

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千米ドル	千円
アメリカ	%		千米ドル	千米ドル	千円
社債券					
AOZORA BANK	1.0500	2024/09/09	16,000	14,822	1,994,270
BMW US CAPITAL LLC	3.8000	2023/04/06	5,000	4,985	670,702
BNP PARIBAS	3.5000	2023/03/01	10,000	9,970	1,341,457
BP CAPITAL MARKETS PLC	3.6430	2023/05/14	3,000	2,981	401,170
CHUGOKU ELECTRIC POWER	3.4880	2024/02/28	3,000	2,938	395,301
CREDIT AGRICOLE LONDON	3.7500	2023/04/24	10,000	9,949	1,338,592
HP ENTERPRISE CO	4.4500	2023/10/02	4,500	4,475	602,100
KOMATSU FINANCE AMERICA	0.8490	2023/09/09	15,700	15,237	2,050,008
MACQUARIE GROUP LTD	6.2070	2024/11/22	17,000	17,166	2,309,640
MARUBENI CORP	3.7500	2023/04/17	3,000	2,989	402,158
MARUBENI CORP	3.5600	2024/04/26	1,500	1,463	196,853
MITSUBISHI UFJ FIN GRP	3.7610	2023/07/26	17,000	16,867	2,269,385
MUFG BANK LTD	4.1000	2023/09/09	5,000	4,949	665,851

## ニッセイクレジットキャリアマザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千米ドル	千円
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
社債券	VOLKSWAGEN GROUP AMERICA	3.1250	2023/05/12	5,000	4,957	667,042
小計		—	—	—	—	15,304,535
カナダ				千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	
社債券	BANK OF NOVA SCOTIA	2.3800	2023/05/01	10,000	9,909	976,631
	BHP BILLITON FINANCE LTD	3.2300	2023/05/15	25,000	24,833	2,447,540
	BMW CANADA INC	2.4100	2023/11/27	5,000	4,885	481,480
	CANADIAN IMPERIAL BANK	3.2900	2024/01/15	20,000	19,636	1,935,343
	HONDA CANADA FINANCE INC	2.5370	2023/03/01	19,000	18,914	1,864,175
	HONDA CANADA FINANCE INC	3.1760	2023/08/28	10,000	9,879	973,684
	MORGAN STANLEY	3.0000	2024/02/07	5,000	4,878	480,800
	ROYAL BANK OF CANADA	3.2960	2023/09/26	4,500	4,444	438,002
	SAPUTO INC	2.8270	2023/11/21	10,000	9,805	966,430
	TELUS CORP	3.3500	2023/03/15	10,000	9,967	982,416
	TOYOTA CREDIT CANADA INC	3.0400	2023/07/12	4,000	3,959	390,234
小計		—	—	—	—	11,936,739
オーストラリア				千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	
特殊債券	AUSTRALIAN POSTAL CORP	5.5000	2023/11/13	8,700	8,804	793,333
社債券	AT&T INC	3.4500	2023/09/19	10,480	10,409	937,987
	AURIZON NETWORK PTY LTD	4.0000	2024/06/21	7,520	7,429	669,461
	AUST & NZ BANKING GROUP	3.1000	2023/01/18	16,000	15,995	1,441,385
	AUST & NZ BANKING GROUP	4.9500	2025/11/04	10,000	10,123	912,237
	BANK OF MONTREAL	3.2000	2023/09/07	1,730	1,717	154,728
	BARCLAYS PLC	4.3270	2023/06/15	5,000	4,981	448,864
	BENDIGO AND ADELAIDE BK	3.5000	2023/01/25	11,500	11,499	1,036,223
	CITIGROUP INC	3.7500	2023/10/27	2,351	2,330	209,961
	COMMONWEALTH BANK AUST	3.2500	2023/04/25	5,400	5,391	485,830
	COMMONWEALTH BANK AUST	4.2000	2025/08/18	10,000	9,944	896,053
	MCDONALD'S CORP	3.0000	2024/03/08	6,000	5,905	532,155
	MERCEDES-BENZ AUSTRALIA	1.2500	2023/09/08	5,000	4,894	441,079
	MERCEDES-BENZ AUSTRALIA	1.0000	2024/03/15	6,000	5,771	520,028
	MIZUHO FINANCIAL GROUP	3.7520	2023/07/19	3,000	2,980	268,578
	NATIONAL AUSTRALIA BANK	4.6500	2025/11/25	25,000	25,103	2,262,076
	SVENSKA HANDELSBANKEN AB	3.2500	2023/09/27	24,730	24,531	2,210,570
	VERIZON COMMUNICATIONS	3.5000	2023/02/17	23,070	23,054	2,077,403
	VOLKSWAGEN FIN SERV AUST	1.2000	2024/04/08	3,300	3,161	284,861
	WESTPAC BANKING CORP	4.9000	2025/11/11	11,600	11,734	1,057,411
小計		—	—	—	—	17,640,233
イギリス				千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	
社債券	BARCLAYS PLC	3.1250	2024/01/17	4,000	3,905	638,351
	BMW INTL INVESTMENT BV	1.8750	2023/09/11	5,000	4,922	804,557

## ニッセイクレジットキャリアマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千円	邦貨換算金額	
イギリス	%		千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
社債券	LVMH MOET HENNESSY VUITT	1.0000	2023/02/11	7,300	7,275	1,189,066
	NATIONWIDE BLDG SOCIETY	1.0000	2023/01/24	5,000	4,986	814,960
	SIEMENS FINANCIERINGSMAT	0.8750	2023/06/05	5,000	4,937	806,919
小計		-	-	-	-	4,253,854
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ		
オランダ						
社債券	VOLKSWAGEN INTL FIN NV	3.1250	2025/03/28	5,000	4,922	702,074
小計		-	-	-	-	702,074
ドイツ						
社債券	RWE AG	2.5000	2025/08/24	5,000	4,888	697,238
小計		-	-	-	-	697,238
その他						
社債券	MIZUHO FINANCIAL GROUP	0.1180	2024/09/06	5,000	4,740	676,213
小計		-	-	-	-	676,213
ユーロ小計		-	-	-	-	2,075,526
合計		-	-	-	-	51,210,888

### 投資信託財産の構成

2022年12月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 51,210,888	% 59.9
コール・ローン等、その他	34,226,392	40.1
投資信託財産総額	85,437,280	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月20日における邦貨換算レートは、1米ドル134.54円、1カナダ・ドル98.56円、1オーストラリア・ドル90.11円、1イギリス・ポンド163.43円、1ユーロ142.64円です。

(注2) 外貨建純資産 (51,671,820千円) の投資信託財産総額 (85,437,280千円) に対する比率は60.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイクレジットキャリアマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年12月20日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>142,819,469,083円</b>
コーポレート債(評価額)	32,913,574,143
公社債(評価額)	51,210,888,203
未収入利息	58,281,642,315
未払費用	368,446,839
	44,917,583
<b>(B) 負債</b>	<b>60,165,151,349</b>
未払解約金	59,773,250,530
未払費用	391,853,277
その他未払費用	47,542
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>82,654,317,734</b>
元本	79,222,871,221
次期繰越損益	3,431,446,513
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>79,222,871,221口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	10,433円

(注1) 期首元本額	83,822,422,141円
期中追加設定元本額	5,887,706,604円
期中一部解約元本額	10,487,257,524円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイクレジットキャリアファンド(適格機関投資家限定)	1,923,632,684円
ニッセイクレジットキャリアファンドアロケーション専用(適格機関投資家限定)	21,107,967,677円
ニッセイリスク抑制型バランスDB(適格機関投資家限定)	10,008,478,621円
ニッセイリスク抑制型バランスファンド(一般投資家私募)	4,395,427,719円
ニッセイリスク抑制型バランスファンドⅡ(適格機関投資家限定)	754,460,658円
DCニッセイ安定収益追求ファンド	3,025,890,618円
ニッセイ・リスクコントロール・プロファンド(適格機関投資家限定)	427,733,954円
ニッセイ安定収益追求ファンド	25,001,439円
ニッセイリスク抑制型バランスファンドS(適格機関投資家限定)	8,311,917,504円
ニッセイリスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家限定)	4,510,180,258円
ニッセイリスク抑制型バランスファンドⅣ(適格機関投資家限定)	377,291,979円
ニッセイ低ボラティリティ・インカムファンド(適格機関投資家限定)	2,057,377,783円
ニッセイ低ボラティリティ・インカムファンドDB(適格機関投資家限定)	6,388,395,903円
ニッセイ低ボラティリティ・インカムファンド(一般投資家私募)	379,797,078円
ニッセイインカム追求・ローリスクバランスファンド(適格機関投資家限定)	12,983,099,522円
ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(キャリア収益強化型)(適格機関投資家限定)	741,602,152円
ニッセイ低ボラティリティ・インカムファンド(1.5倍型)(適格機関投資家限定)	563,198,005円
DCニッセイおまかせバランスファンド(安定)	244,627,809円
ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(キャリア収益強化型)Ⅱ(適格機関投資家限定)	226,098,328円
DCニッセイおまかせバランスファンド(安定成長)	24,791,631円
ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家専用)	745,899,899円

### 損益の状況

当期(2021年12月21日~2022年12月20日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,854,868,016円</b>
受取利息	1,867,801,347
支払利息	△ 12,933,331
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 2,987,668,261</b>
売却損益	15,769,777,310
買入損益	△ 18,757,445,571
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 7,491,007</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 1,140,291,252</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>4,802,774,285</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>333,420,747</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 564,457,267</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>3,431,446,513</b>
次期繰越損益金(H)	3,431,446,513

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。